

美馬市美馬町における文書調査

地方史班（徳島地方史研究会）

石尾 和仁* 徳野 隆* 松下 師一* 立石 恵嗣* 高田 恵二* 中村 豊*
金原 祐樹* 草原 聡美* 大柴せつ子* 森 千枝* 日野 善雄*

要旨：願勝寺及び願勝寺の境内にある美馬市立郷土博物館が所蔵する古文書類の整理と目録の作成を行った。その結果、願勝寺所蔵文書として540点の古文書を確認した。3箱整理を行ったが、願勝寺の経営に関する古文書、仏教関係の書籍、郡里村・郡里山の庄屋文書がそれぞれ保管されていた。また、美馬市立郷土博物館収蔵庫に所蔵されていた史料群は151点を確認した。これらは近世の郡里村・郡里山の庄屋文書、近代の郡里村（町）の役場文書、及び近代の仲家の文書が主体となっている。

キーワード：願勝寺，美馬市立郷土博物館，史料目録，段の塚穴，郡里町史蹟顕揚会

1. 調査の概要

1) 調査の方針

美馬町内には願勝寺をはじめとして安楽寺など寺町を中心に多くの寺院があり、また願勝寺境内にある美馬市立郷土博物館にも『郡里町史』（郡里町史編集委員会1957）や『美馬町史』（美馬町1989）の編纂過程で蒐集された資料の一部が保管されている。さらに、かつて徳島県立図書館が編集した『徳島県史料所在目録 第五集（美馬郡）』（1975）には個人蔵の文書目録も掲載されているが、今年度の調査は、日数や人的な都合で願勝寺及び博物館蔵の史料に限定して総目録の作成を意図した。今回の調査に際して津田篁史住職ならびに逢坂俊男文化財保護審議委員の御配慮をいただいたことを記して御礼にかえたい。なお、前出の『郡里町史』には願勝寺文書の一部が目録化され、その一部が翻刻されている。

（石尾和仁）

2) 願勝寺について

美馬町願勝寺に所在する宝壺山真城院と号する願勝寺は真言宗御室派で、南北朝期の作庭と伝えられ

る庭園は四国最古の池泉式枯山水庭園として有名であり、県の指定名勝である。竜門瀑をモチーフにした枯滝と枯池は天竜寺と同一の手法であり、京都との交流を示すものと考えられている（『美馬町史』・『徳島県の文化財』徳島県教育委員会他2007）。寺蔵の「願勝寺歴代系譜」はすでに『郡里町史』で翻刻されているが、これによると鎌倉時代の14代行智上人の時代に「国守小笠原長房ノ祈願師トナツテ田畠千町ノ寄附」があり、「寺門ノ繁栄」は目を見張るものがあつたと記している。すなわち守護小笠原長房の帰依を受けているとされる。また、15代行念上人の時代には「弘安四年蒙古襲来ノ時ハ勅命ヲ奉テ夷狄退治ノ祈祷ヲナス」ともある。

さらに、天正年間には「土州長曾我部元親ノ兵火ニ罹リ一端無住同断ノ地」となったものの、天正13年（1585）の蜂須賀家政入部に際して26代快全上人が「古来ノ由緒」を上申し、境内方八町が御免地になったといわれている。なお、『阿波志』には「源長房二十貫を捨つ、慶長十二年命じて郡中諸寺を管す、元和八年二十石を賜ふ、真言を修む」と記されている。（石尾和仁）

* 徳島地方史研究会会員

記

2. 願勝寺文書及び美馬市立郷土博物館所蔵文書の概要

願勝寺の調査では庫裏に保管されていた古文書3箱を借りだして整理し、540点の古文書を確認した。この3箱のうち、ひとつは願勝寺の経営に関する古文書が、ひとつは仏教関係の書籍が中心となっている。もうひとつは、何らかの理由で願勝寺が保管することになった郡里村・郡里山の庄屋文書が中心となっている。なお、この目録中の何点かの古文書は『郡里町史』に翻刻掲載されているので参照していただきたい。

また、美馬郷土博物館収蔵庫に所蔵されていた史料の整理を行い151点を確認した。これらは近世の郡里村・郡里山の庄屋文書、近代の郡里村（町）の役場文書、及び近代の仲家の文書が主体となっている。（徳野 隆）

3. 「郡里町史績顕揚會」について

—一段の塚穴の保存と顕彰—

はじめに

阿波学会旧美馬町調査のなかで「昭和拾八年以降史蹟段ノ塚穴顕揚書類」と題された簿冊に出会うことができた（郷土資料館所蔵史料）。この簿冊は戦中期における段の塚穴の保存と顕彰に関わる地元の対応を今に伝える貴重な史料である。

1) 段の塚穴顕彰の契機

昭和6（1931）年9月の満州事変勃発以降、軍部の台頭が著しいなか国家主義的風潮が強まっていくことになる。翌年の五・一五事件で犬飼毅首相が倒れ政党政治に終止符が打たれると歯止めなく十五年戦争に国民も巻き込まれてしまうことになった。

戦局が深まっていった昭和18（1943）年の2月19日付で文部省から次のような通知が出された。

発教一七號

徳島縣美馬郡郡里町

史蹟名勝天然紀念物保存法第五條第一項ニ依リ

左記ノ管理者ニ指定ス

昭和十八年二月十九日

文部大臣 橋田 邦彦 印

一、史蹟 段ノ塚穴

この通知が出される前後の時期、地元郡里町では段の塚穴をどのように保存し顕彰していくのかということが大きな関心事となっていた。地元では「郡里町史績顕揚會」を設立し段の塚穴の顕彰を行っていくが、その趣意書には次のように記されている。

郡里町史績顕揚會趣意書

徳島縣ガ持つ只一ツノ文部省認定史蹟「段ノ塚穴」ニ在リテハ其ノ道ノ大家笠井新也先生ノ講評ノ通り全国的ニ其例ヲ見ザルノ特長ヲ有スル壯麗ニシテ且、大ナルモノニシテソノ構想ヨリシテ一千数百年前奈良平安時代ノモノナルコト確實ナリ然ラバ郡里町ニ於テハ既ニ此ノ時代ニ一大文化ノ地ニシテ阿波北方ニ於ケル中心地トシテノ大支配者ノ在リタルヲ失ハズ此ノ文化コソ吾我等ノ郷土ヲ誇ル唯一ノモノニシテ此ノ地ニ生ヲ亨ケタルモノ皆コノ古ヲ祖先ノ血ヲ亨ケタルモノタルコトノ事實ヲ見レバ以テ念ヲ鼓舞激励スルニ充分ナリト信ズ、古キ歴史ヲ有スル郷土と歴史ニコソ日本精神ノ生マレル源泉ニシテ之ニ對シテ感激シ報恩ノ誠ヲ奉シ祖先ノ冥福ヲ祈リ将来ノ人士ヲ感奮興起セシメザルベカラズ

時局重大ニシテ世界ノ和平ヲ日本精神ニ依リ樹立セントスル秋ニ於テ之レガ事實ノ上ニ示セル此ノ史実顕揚コソ必緊ノ要務ナリ尚郡里ハ其ノ名ノ示ス如ク古キ史蹟ノ多々アルヲ以テ之レガ研究ヲ続ケ以テ此ノ顕揚ニ当ラントスルモノナリ
大業翼賛國基ヲ鞏クシ日本精神ヲ高揚スル此ノ譽ニ對シテ冀クハ天下ノ同志ノ賛同ヲ賜ハラントス

この趣意書で特に注目されるのが、「古キ歴史ヲ有スル郷土と歴史ニコソ日本精神ノ生マレル源泉ニシテ之ニ對シテ感激シ報恩ノ誠ヲ奉シ」とあるように、郷土の史蹟を顕彰することによって地域社会のアイデンティティーの形成及び国威発揚につながりたいとの思いを読み取れることである。

2) 郡里町史績顕揚會

昭和戦前期には文化財保護の根幹となる諸制度が整備されていく。昭和3(1928)年の「国宝保存法」、昭和8(1933)年に「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」がそれぞれ制定されている。これは「吉備大臣入唐絵詞」のボストン美術館流出を契機に文化財の輸出制限を意図したものだが、その前提には明治30(1897)年に公布された「古社寺保存法」が象徴するように、日清戦争と対露外交の硬直化のなかで民族的意識の高揚をともなったものであったことも理解しておく必要がある。そして、大正8(1919)年の「史跡名勝天然記念物保存法」にいたっては国家的性格が色濃く反映されることになるのである。

一方、郷土教育の現場でも先述の文部省通知が出された昭和18年は国家的性格が一段と強まっていくことになる。同年に出された「師範学校教科教授及修練指導要目」に次の項目が掲げられている。

一郷土ノ国家的意義ヲ明ニシ郷土ニ対スル認識ヲ深メテ愛国愛郷ノ念ヲ養フト共ニ其ノ研ノ方法ヲ会得セシメ教育実践ノ根柢ニ培フベシ

そして、郷土を学ぶ目的として「我が国土国勢ヲ詳ニシ国民的自覚ヲ深カラシムベシ」とも記し、国家的性格を全面に打ち出していく。こうした社会風潮の中で「郡里町史績顕揚會」も段の塚穴の顕彰に動くことになったのである。

その「郡里町史績顕揚會」では会則も定めている。

郡里町史績顕揚會

- 第一條 本会ハ郡里町史績顕揚會ト称ス
 第二條 本会ハ事務所ヲ郡里国民学校ニ置ク
 第三條 本会ハ郡里町ノ史績ヲ顕揚スルヲ以テ目的トス
 第四條 本会ノ事業左ノ如シ
 一. 段ノ塚穴ヲ完備ス
 イ. 段ノ塚穴附近ノ土地ヲ得ルコト
 ロ. 全所ニ至ル道路ヲ作ルコト
 ハ. 鳥居及入口ノ柵ヲ設ルコト
 ニ. 休憩所ヲ作ルコト
 ホ. 宣傳施設ヲナスコト (休ミ場, 説

明書等)

- ヘ. 祭典ヲ行フコト
 ト. 観覧規定ヲ作ルコト

- 二. 郡里町ノ史績ヲ研究ス
 三. 郡里町史績ノ維持資金ヲ造成ス

第五條 本会ハ前條ノ目的ヲ達成スルタメ資金ヲ作ルコト

第六條 本会ニ左ノ役員及職員ヲ置ク

- 一. 総 裁
 一. 会 長
 一. 副会長
 一. 顧 問 若干名
 一. 評議員 〃
 一. 賛助員 〃
 一. 理事長 一 名
 一. 理 事 (内一名理事長) 若干名
 一. 委 員 若干名

第七條 総裁会長副会長ハ發起人ニ於テ推戴シ顧問ハ会長之ヲ推薦シソノ他役員ハ会長之ヲ囑託ス

第八條 役員ノ職務権限ハ左ノ如ク定ム
 総裁ハ会務ヲ総覧ス
 会長ハ会務ヲ統括シ本会ヲ代表ス
 副会長ハ会長ヲ補佐シ会長事故アルトキソノ職務ヲ代理ス
 顧問ハ会長ノ諮問ニ応ジ本会ノ事業ヲ助ク

評議員ハ本会重要ノ会務ヲ決議ス
 賛助員ハ本会ノ事業ニ翼賛ス
 理事長ハ会長ノ命ヲ受ケ会務ヲ處理ス
 理事ハ会長ノ命ヲ受ケ会務ヲ分掌ス
 委員ハ義金ノ募集ヲ掌リ又ハ事業執行ヲ幫助ス

第九條 本会ニ於テ行フ業務ハ之ヲ庶務計畫工務会計研究ノ五部トシ各係長ヲ置業務ノ進行ニ任ズ

第十條 各係員ニ於テ擔任スル事務左ノ如シ
 庶務係 1. 各係事業ノ連絡統制ニ関スル事業
 2. 資金ノ調達ニ関スル事項

- 3. 建設敷地ノ決定並所管ニ関スル事項
 - 4. 建設ニ関スル諸手続
 - 5. 祭典其他ノ事項
 - 6. 其他, 他係ニ属セザルモノ
 - 計畫係 1. 塚穴附近ノ設計并其ノ工事執行ニ関スル事項
 - 2. 塚穴附属ノ工事執行ニ関スル事項
 - 3. 其他ノ土工及建物ニ関スル事項
 - 工務係 1. 設計ニ対スル工事執行ニ関スル事項
 - 2. 其ノ他ノ工作一切ノ事項
 - 会計係 1. 金銭及物品出納及ソノ保管ニ関スル事項
 - 2. 経費ノ豫算決算事項
 - 3. 其他会計事項一切
 - 研究係 1. 町内史績ノ指定地ヲ定ムルコト
 - 2. 指定地ニ関スル研究方法決定之ニヨル研究
 - 3. 研究発表会ヲ開クコト
- 第十一条 各係ノ業務執行ニ関スル計畫又ハ細則ハ庶務係ト連絡シテ之ヲ定会長ノ承認ヲ受クルコト

史料紹介もかねて長々と引用したが、事業の内容や組織などが明文化されていることがわかる。さらに地元では町役場が中心となって、地籍調書の作成

を行い、その上で「拙者所有土地史蹟段ノ塚穴指定地トシテ編入ニ異議無之候也」とする「承諾書」に、地権者らに署名をさせて、公有地化を図っているのである。

当時、徳島県では昭和15（1940）年に「皇紀二千六百年記念として土御門上皇を祭神とする阿波神社の造営が始まり（竣工は昭和18年）、徳島県・徳島市・徳島県教化連盟の主催で2月11日の紀元節の日にも西の丸運動場で「皇紀二千六百年」の記念式典が挙行されている。また、大政翼賛会徳島支部も結成され、翌16年には郡市支部・町村支部も結成されるなど、戦争遂行への道筋が次第に明確になっていった。そして、昭和17年には「皇道文化の宣揚に挺身するを以て目的」に徳島文学協会が結成されるなど、文化人も戦争遂行のために組織化されることにもなった（三好・松本・佐藤1992）。このような時代背景のもとで、段の塚穴をめぐる地元の動きとして、郷土の史蹟を顕彰することによって地域社会のアイデンティティーの形成をはかるとともに国威発揚に結びつけようとする意識が働いた側面もあったものと考えらる。

4. おわりに

このように、「郡里町史績顕揚會趣意書」は、戦前・戦中における文化財保護の方向性の一端を読み取ることのできる史料であり、当時の社会思潮を探る上で貴重な歴史資料と評価できよう。

(石尾和仁)

文献

三好昭一郎・松本 博・佐藤正志1992『徳島県の百年』山川出版社。

表1-1 願勝寺文書目録(1)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-1	精忠賞日華夷見(書作品)	玉峰口口 落款				軸装なし
寺A-2	御渡申書物之事(上田受返)	新藤 [印]	願勝寺様	慶応三年五月四日	1867	水ぬれ有
寺A-3	五年切本米返亮渡申田地書物之事	郡里村田地売主亀作伴清五 [印] 外9名	貞光村無役人伊勢藏殿	弘化四年未五月	1847	端裏書・裏書有 水濡れ有
寺A-4	大内山仁和寺口(権か)法務御室御所(由緒書)			(文政十三年以降)		綴 水濡れ有
寺A-5	度牒(願勝密寺において剃髪)	大阿達梨快淋 [花押]	快洞真長房	大正四年陰九月廿日	1915	封紙有り 折紙
寺A-6	田地兼水御取調願(外2件)	佐伯快淵 [朱印]	副戸長殿	明治十一年七月十日	1878	綴 掛紙 はずれた付箋有
寺A-7	御家中領知所務指出之義(檢地につき諸帳面指出のこと)	新見口兵衛	美馬郡与頭庄屋方へ 一字祖谷郷高取中	三月五日(近世)		綴
寺A-8	古義真言宗本末一派明細帳	名 東国阿波国第六大区美馬郡半田奥山摩仁珠山多聞寺		(明治初期)		整帳
寺A-9	旧願勝尾侍従依(王政一新につき五箇条御誓文揭示のこと)	高野山總分大衆中学侶大衆中非事吏方中		(明治元年)	1868	折紙
寺A-10	大師信者ノ靈牌観(研究ノート)	津田		大正七年	1918	綴 掛紙
寺A-11	[]致拝見候薄暮之處(書状)	久富内匠当虎 [花押]	願勝寺様	五月七日		一部欠損 水濡れ有り
寺A-12	一、当村嘉大明神再興仕(遷宮に関する出入済口証文)	郡里村社人采女 [角印] 外1名	西条村庄屋兵右衛門殿外2名	享保貳拾年卯ノ十一月十一日	1735	奥書有 虫損有
寺A-13	願書ニ付委細口上覚(東寺等ノ歴史を略述)	高野山引換院常塔	寺社御奉行所	安永三年十二月	1774	整帳
寺A-14	京極寺縁起并保存金募集記(包紙のみ)					
寺A-15	胎藏界外五胎印(印信)	大阿達梨教正神海 [花押]	沙弥快温	明治十三年六月廿四日	1880	
寺A-16	[]雛形(寺院取調報告雛形)	国郷村山号寺号院号実名印	[]役人御中	文化五戊申年何月	1808	整帳 鼠損大 表紙欠
寺A-17	補教師補(辞令)	古義真言宗管長大僧正龍池密雄	津田快温	昭和五年十一月廿五日	1930	
寺A-18-1	寺院保存金御下賜願(京都府下上京区上御靈前町京極寺)	京都府下上京区上御靈前町京極寺兼務住職徳島県下阿波国美馬郡郡里郷願勝寺住職願人佐伯快淵 外4名	京都府知事北垣国道殿	明治十八年一月十六日	1885	綴穴有 封紙有 虫損小
寺A-18-2	副願	府下葛野郡御室郷字大内真言宗大本山仁和寺副住職菅野阿	京都府知事北垣国道殿	明治十八年一月十六日	1885	綴穴有 封紙有 虫損小
寺A-18-3	丙第四十号(保存資金下渡通達写)	京都府知事北垣国道	京極寺	明治十八年三月廿四日	1885	綴穴有 封紙有 虫損小
寺A-19	不動 キブボスヒカウテ(六字経法 調伏等)	(観音僧都)				横帳
寺A-20	断簡(手習いか)					
寺A-21	金剛界神分					横帳
寺A-22	(型紙)					破損有
寺A-23	ハガキ断簡	名 東郡八万村津口院執事	願勝寺口口様			
寺A-24	(前欠)当寺法会等にも(未寺半田山神宮寺の件)	美馬郡郡里村願勝寺 [角印]	生田弁左衛門様御手代新見円次兵衛殿	宝暦五年亥ノ六月五日	1755	奥書有
寺A-25	仁尾宥太郎殿印形ニ而(願書を役所へ差し出す経過)					
寺A-26	第一号各寺院教職中席願(席願を等級により決定すべき旨外)	会議処		(明治)七年一月五日	1874	整帳 第一号~第五号
寺A-27-1	宗教法人規則認証申請書	徳島県美馬郡郡里町願勝寺八番地 宗教法人願勝寺 津田快淵 [朱角印]	徳島県知事阿部邦一殿	昭和廿七年	1952	
寺A-27-2	証明書(願勝寺)	京都府京都市右京区御室大内無番地真言宗御室派代表役員管長大僧正 岡本慈航 [印(朱角印)]		昭和廿七年	1952	
寺A-27-3	証明書(願勝寺・津田快淵)	京都府京都市右京区御室大内無番地仁和寺(包括団体)真言宗御室派代表役員管長大僧正 岡本慈航 [朱角印]		昭和廿七年	1952	
寺A-27-4	(登記申請書)	徳島県美馬郡郡里町願勝寺八番地 宗教法人願勝寺 津田快淵	徳島地方事務局御中	昭和廿七年	1952	
寺A-28-1	履歴(願勝寺副住職鎌田昌淳)	元教導職試験鎌田昌淳		明治十八年七月十九日	1885	綴
寺A-28-2	履歴(多聞寺住職篠原甚三郎)	篠原甚三郎 [朱印]		明治十八年七月廿日	1885	綴
寺A-29	萌黄色衣被著(許可証)	真言宗御室派管長大僧正土宜法龍 [朱角印]	権中僧都津田昌淳	大正七年八月廿九日	1918	
寺A-30	門主門下之法例之事(門下の檀那死去、出家法事の際等、法例取り決め)	東林院外4ヶ寺	林大覚様外2名	寛文三年六月十三日	1663	
寺A-31	口上(当寺無本寺につき仁和寺御所末寺になり申しした旨他)			近世前期か		後欠
寺A-32	覚(本末の作法遵守の旨の請書)	神宮寺寂静 [印]	願勝寺様	宝暦十三年未六月三日	1763	
寺A-33	覚(本末之御作法の件)	神宮寺 [印]	願勝寺様	宝暦貳年午二月十五日	1762	
寺A-34	右之趣可申趣(仁和寺からの通達控・願勝寺より差し出す書状の案文他)			(近世)		前欠
寺A-35-1	田地引渡証券	美馬郡貞光郷折目徳雄総代理人折目徳己 [印]	同郡々里郷佐伯快淵殿	明治十四年六月八日	1881	2枚一括
寺A-35-2	受取之証(貸代金受取証)	美馬郡貞光郷折目徳雄総代理人折目徳己 [印] 外1名	同郡々里郷佐伯快淵殿	明治十四年六月八日	1881	2枚一括
寺A-36	一筆啓上仕候(貴院様伝法御灌頂御執行の件・下書き)			(近世)		裏面記載有
寺A-37	以手紙申上候(私共近親角次病死の件)	徳左衛門 外1名	願勝寺様	(近世)二月十日		
寺A-38	同西岡長次郎 印(前欠・田島年切亮渡証文)	西岡長次郎 [印] 外4名	同村 宗兵衛殿	(近世)		前欠

表 1-2 願勝寺文書目録 (2)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-39	[]濃茶手続(茶会の催し方)			(近世)		虫損少し
寺A-40	証(畑地受代金等)	郡里村西岡富三郎 [印]	佐伯快洲殿	明治十三年旧十二月二日	1880	
寺A-41	仕上一札之事(私伴倉蔵病死の件)	郡里村倉蔵親喜代口 [印] 外2名	願勝寺様	(近世)寅七月十三日		虫損
寺A-42	井村甚蔵借用証文ニ対シ計算			(明治力)		
寺A-43	二宮佐渡より願勝寺へ一書指上候書付入(封紙)			(近世)		
寺A-44	相模国西明寺(仏の靈験等の説明)					折紙
寺A-45	(前欠)但御布告御請書之義(同時に差し出す旨の書状断簡)	東光処	願勝寺殿	十月廿七日		断簡
寺A-46	仕上書口之事(本末の法式を守る旨の請書)	大田村万福寺	願勝寺様	天保五年十二月一日	1834	虫損 虫損
寺A-47	覚(八幡宮遷宮に際し抱網等の調達が出来ないので、代銀等を差し上げる件)	惣氏子脇田六之進 [印] 外2名	願勝寺様	元文元年八月十四日	1736	奥書有
寺A-48	折禱文(戦勝祈願)					後欠
寺A-49	辞令(任職を免ず)	真言宗御室派管長大僧正土宜法龍	名東郡八万村長久寺住職五等教師少僧正佐伯快洲	明治四十年九月二日	1907	
寺A-50	依御室官仰芳令披見候(若中奉書・返札 尾張大納言逝去に付き)	松平和泉守 [花押]	菩提院	閏五月五日(近世)		折紙 虫損
寺A-51	御尋二付申上覚(檀那寺変更について)	小野寺七郎右衛門	長坂豊口大夫様御下代 [] 見久五兵衛殿	三月廿五日(近世)		虫損
寺A-52	諸国御国高之義(御触写し)					
寺A-53	奉願上覚(重清村・郡里村に漂着した流木を寺の修繕に利用したいので運上銀を差し出したい件)	願勝寺	前野延左衛門殿	巳十二月(近世)		虫損少
寺A-54	阿州美馬郡願勝寺(仁和寺の直末になることに問題なし、この件は領主にも報告するように)	杉本 []	薬師坊御房	正月廿日(近世)		虫損
寺A-55	覚(万福寺住職病死一件)	貞光村真光院 [印]	願勝寺様	申ノ十二月四日(近世)		虫損少
寺A-56	追而 [](万福寺の件)	願勝寺	林小八郎殿	酉ノ三月(近世)		虫損有
寺A-57	行法用意(仏書断簡)					断簡3枚
寺A-58	一和濟口書物之事(遷宮に際して前後忘却の件)			(近世)		後欠
寺A-59	預申金子之事(請願係)	郡里村預主 大谷孫平 [印]	佐伯快洲殿	明治十二年四月	1879	奥書有
寺A-60	記(旧下人居屋敷敷歩)			(明治)		
寺A-61	御帛位之大事	阿陽 佐伯快洲 [朱角印]				整帳
寺A-62-1	落地御調査願	高知県阿波国美馬郡郡里村願勝寺住職 佐伯快洲 [朱印] 外3名	高知県徳島出張所地租改正係御中	明治十三年一月三十日	1880	綴 1と2は紙縫で一括
寺A-62-2	地所御取消願	阿波国美馬郡郡里村地主惣代 真鍋儀平	高知県地租改正係徳島出張所御中	明治十三年二月廿八日	1880	綴 1と2は紙縫で一括
寺A-63	明和六丑年 [] 棟付御改指出張	郡里村願勝寺		(明和六)丑八月七日	1769	整帳 綴糸はずれ 表紙一部欠
寺A-64	委任状(土地分劃登記申請について)	美馬郡郡里村五百式番屋敷願勝寺 右住職 津田昌淳 [朱印] 外3名	美馬郡脇田大字脇田四百五拾六番地 坂東正一	大正五年七月日	1916	綴
寺A-65	土地売渡二付承認御願(兼養街道改修道路敷地として)	右寺(願勝寺)住職 津田昌淳 外5名				綴
寺A-66	真言クワ様(修法について)					整帳 紙質劣化 後欠
寺A-67	遷宮記(各社の遷宮について)					整帳
寺A-68	古義真言宗本末一派寺院明細帳	名東県阿波国美馬郡半田村 龍頭山神宮寺		(明治前期)		整帳
寺A-69	本末之出入(万福寺と願勝寺のについて)			(近世)		前後欠
寺A-70-1	依御室官仰芳令披見候(若中奉書・返札 徳川刑部卿逝去に付き)	太田備中守資愛 [花押] 外4名	真光院	五月十九日(近世)		1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-1	於郡里村二高廿石分(寄進状)	稲田修理亮示種 [花押]	願勝寺同宿中	元和八年九月廿三日	1622	折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-2	定(当郡出家当寺へ付置の件)	稲田小八郎 [花押]	願勝寺同宿中	慶長二年六月十六日	1597	折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-3	定(郡里村堂官林伐採停止)	稲田小八郎 [花押]	願勝寺同宿中	慶長二年六月十六日	1597	折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-4	山田次右衛門(書簡・諸役御免について)	山田次右衛門 [花押]	願勝寺同宿中	二月三日(近世)		折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-5	長坂三郎左衛門(書簡・蒙切について)	長坂三郎左衛門		九月廿五日(近世)		折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-6	まつ(書簡)	まつ	すいせんいん	慶長十二年六月廿日	1607	折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A70-2-7	稲田修理亮(書簡・火事見舞い)	稲田修理亮示種 [花押]	願勝寺同宿中	三月十三日(近世)		折紙 1と2は紐で一括 2の1~7は「御証文函 願勝寺」と書かれた箱に入っている
寺A-71	覚(発起請について)	由利太 [印]	願勝寺	慶応元年十二月	1865	
寺A-72	預り申島地書之事	郡里村島地預り主龜作 [印] 外2名	願勝寺様御内 勝右衛門殿	文政八酉年十月	1825	72と73は同一資料の糊剥がれ
寺A-73	(同上)					72と73は同一資料の糊剥がれ

表1-3 願勝寺文書目録(3)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-74	先日ハ貴書被下拜願仕候(境内林根伐願いの件)			十月廿三日(近世)		
寺A-75	五年切元銀返シ亮渡島地書物之事	郡里村島地売主 願勝寺 [印] 外8名	同村(郡里村)大蔵殿	弘化三年十月(近世)	1846	
寺A-76	仕上ル一札之事(当名八幡宮下運官の儀、願勝寺執行の旨、請書)	二宮佐渡 [印] 外4名	願勝寺殿	慶応四年三月	1868	
寺A-77	(神宮寺住職後任人事に関する報告)	願勝寺	前野延左衛門様	六月(近世)		前欠
寺A-78	本末僧徒法式抜口 願勝寺知事	神宮寺 [判] 外2ヶ寺		年号月日		整頓
寺A-79	御札ニ付仕上覚(義之丞妻死亡について)	郡里村真鍋次左衛門 [印] 外3名	御役人衆中	寛政四子年七月二日	1792	奥書有
寺A-80	(書作品)	頼惟完 [落款]				
寺A-81	五年切本銀返亮渡申田地書物之事			(近世)		後欠
寺A-82	約束書物之事(老年切元銀返島地買入れ証文)	同村島地売主執事 [印] 外1名	願勝寺	文久元酉五月	1861	
寺A-83	五年切本米返シ亮渡申田地書物之事	郡里村売主願勝寺 [印] 外4名	同村(郡里村)紋兵衛殿	文久武巳年十月十日	1862	
寺A-84-1	約定証書之事(借金の件)	美馬郡郡里村百七拾七番地 井村甚介 [印] 外1名	郡里村 佐伯快瀧殿	明治十一年十月三日	1878	
寺A-84-2	約定証書之事(借金の件)	美馬郡郡里村百七拾七番地 井村常蔵 [印] 外1名	郡里村 佐伯快瀧殿	明治十一年十月三日	1878	
寺A-84-3	條約書之事(畑地買い取り)	郡里村畑地買主 大谷孫市 [印] 外1名	同村(郡里村)願勝寺殿	明治八年旧正月廿五日	1875	証券界紙
寺A-84-4	亮渡証文之事	高知県阿波国美馬郡々里村百七拾七番地屋敷居住井村甚介	同村(郡里村)願勝寺住職佐伯快瀧殿	明治十二年一月十三日	1879	証券界紙
寺A-85	辰夏二者右代銀(五年切本銀返田地亮渡証文)	郡里村田地売主 新蔵 [印] 外8名	同村(郡里村)長兵衛殿	文久三亥五月	1863	前欠
寺A-86	預り申金子之事(講関係)	西前熊八	願勝寺殿	明治十六年三月	1883	奥書有
寺A-87	本末寺号其外明細帳	御室御所直末美馬郡郡里村 願勝寺		明治三年九月	1870	整頓
寺A-88	毛利淡路守元蕃(書簡・門主からの年始祝詞への札)	毛利淡路守元蕃 [花押]	真乗院僧正	六月十五日(近世)		折紙 端裏に「申年始返」とあり
寺A-89	往来寺請状之事	同国同郡同村(讃岐国三野郡吉津村)吉祥寺 [角印] 外1名	国々御番所々々御役人衆御中	安政四巳年二月	1857	虫損少
寺A-90	仕ル口上之覚(運官に関する件)	半田山 神宮寺 [印]	郡里村 願勝寺様	享保十四酉閏年九月十六日	1729	
寺A-91	御室御 [](寺院関係書類控)					横帳 表紙破損 後欠
寺A-92	五年切本銀返亮渡申島地書物之事	郡里村島地売主 与八 [印] 外9名	同村(郡里村)繁太郎殿	文久元酉十月	1861	
寺A-93	預り申金子之事(講関係)	郡里村預り主 藤川利久次 [印]	同村(郡里村)願勝寺殿	明治十貳年旧十一月	1879	奥書有
寺A-94	御室御所御触写	願勝寺		寛政六年閏十一月七日	1794	整頓 一部虫損
寺A-95	西院流大事	伝燈大阿闍梨大僧正慈航	(快瀧)	昭和九年十一月十一日	1934	封紙有
寺A-96-1	預り申金子之証(講関係)	郡里村預主 真木喜蔵 [印]	願勝寺殿	明治十二年卯三月朔日	1879	綴糸はずれ 奥書有
寺A-96-2	預り申金子之事(講関係)	郡里村預主 曾我部宗平 [朱印]	同村(郡里村)佐伯快瀧殿	明治十三年	1880	綴糸はずれ 奥書有
寺A-96-3	預り申金子之事(講関係)	郡里村預主 佐治貞太郎 [印]	願勝寺殿	明治十年丑ノ九月	1877	綴糸はずれ 奥書有
寺A-96-4	預り申金子之事(講関係)	郡里村預主 山本伊勢太 [印]	願勝寺殿	明治十三年辰九月	1880	綴糸はずれ 奥書有
寺A-96-5	預り申金子之事(講関係)	郡里村預主 井村武八 [印]	願勝寺殿	明治十一年寅三月	1878	綴糸はずれ 奥書有
寺A-96-6	預り申金子之事(講関係)	郡里村預主 芝本寿夫 [印]	願勝寺殿	明治九年子九月	1876	綴糸はずれ 奥書有
寺A-96-7	預り申金子之事(講関係)	郡里村預主 藤川孫太郎 [印]	願勝寺殿	明治十二年九月	1879	綴糸はずれ 奥書有
寺A-97	奉願覚(願勝寺境内林の扱いについて)			(近世)		
寺A-98	願状之事(重清村在住の尼僧死亡の場合の導師依頼)	七条村 宝蔵寺 [印]	幸里村 願正寺様	弘化二卯年四月廿九日	1845	
寺A-99	奉願覚(願勝寺境内林の扱いについて)			(近世)		97と同一か 鼠損有
寺A-100	建物書入金借用証	高知県阿波国美馬郡重清村借主 西山角蔵 [印] 外1名	郡里村金主 佐伯快瀧殿	明治十一年七月十日	1878	奥書有 付紙有
寺A-101	(家相図)					一部破損
寺A-102	仕ル口上之覚(轟大明神運官の件)	郡里村赤宣 采女	大作殿 外2名	享保貳拾年八月十三日	1735	
寺A-103	仕上書附之覚(亡妻の埋葬願いの)	郡里村 元太郎 [印] 外7名	願勝寺様	慶応元年閏五月八日	1865	
寺A-104	仕上書物之事(住職就任につき本末の法式等を守る旨の請書)	神宮寺 快伝	願勝寺様	弘化四年未卯月廿七日	1847	
寺A-105	仕書物之事(住職就任につき本末の法式等を守る旨の請書)	神宮寺 密伝 [印]	願勝寺様	天保八年酉十二月日	1837	
寺A-106	申上覚(大田村楠倒木につき処理の件、願書)	願勝寺		丑(近世)		
寺A-107	且外同末(多聞寺再住の件)	郡里村 願勝寺 外2ヶ寺	役人様中	(近世)		前欠
寺A-108	覚(本末作法の件)	万福寺 [印]	願勝寺様	明和四亥四月八日	1767	
寺A-109	仕渡シ申証文之事(鎌倉谷古田用水の件)	郡里村水売主 井村新蔵後家 [印] 外2名	同村(郡里村)兼吉殿	明和五申年五月	1768	
寺A-110	御銀ニ付申上覚(郡里村先規奉公人儀 願勝寺殿を養子にする件)	願勝寺 [印]	伏屋岡三郎殿	申九月(近世)		
寺A-111	預り申金子之事(講関係)	郡里村 西前熊八 [印]	願勝寺殿	明治十一年寅九月	1878	奥書有
寺A-112-1	林誠一(書簡・請求の件)	林誠一	鎌田豊師	明治四十一年十月三十日	1908	包み紙 紐で一括
寺A-112-2	(人名書き上げ等)			明治二十年八月二十一日	1908	包み紙 紐で一括
寺A-112-3	明治四十一年八月廿一日(整理委員投票開札の件)			明治四十一年八月廿一日	1908	包み紙 紐で一括
寺A-112-4	小作証文之事	美馬郡郡里村小作人 吉本鍋蔵 [印]	地主 佐伯快瀧			
寺A-113	申上覚(母病気の件)	荒門 政次郎 [印]	願勝寺様	七月十九日		水濡れ有
寺A-114	香色(衣着用許可)	山崎左京小進 [花押] 外1名	阿州美馬郡里村 願勝寺快瀧御房	元治元年十二月	1864	折紙 封紙有

表1-4 願勝寺文書目録(4)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-115	(地所処分についての照会)	美馬郡郡里村 中山伝次郎 [印]	願勝寺住職佐伯快測殿 外2名	明治廿三年旧二月十日	1890	綴
寺A-116	(御触写)	願勝寺 [印]	多聞寺 外2ヶ寺	申ノ(近世)		前欠
寺A-117	(手習い)					
寺A-118	尚以八幡宮(断簡)					断簡
寺A-119	老々歳切亮渡申島地書物之事	郡里邑島地売主 願勝寺 [印] 外1名	同邑(郡里村)豊蔵殿	嘉永五子年十月	1852	
寺A-120	(由緒等報告・下書き)	郡里村 願勝寺		寛政十午年九月	1798	
寺A-121	(五年切元米返島地売渡証文)	郡里村島地売主 与蔵 [印] 外7名		天保八年酉十月	1837	前欠 後欠
寺A-122	書簡(出水溺死の息子の埋葬について)		願勝寺様	八月十四日(近世)		虫損
寺A-123	左十郎(書簡・当村で死亡の郡里村民の件)	阿波郡香美村五人与 左十郎		八月十四日(近世)		封紙有
寺A-124	覚(照見との紛争について)	願勝寺	柴田宇兵衛様	九月十五日(近世)		
寺A-125	田中七左衛門(書簡写・願勝寺御用につき出頭要請)	田中七左衛門	郡里村 曾我部半右衛門殿	戊十月十八日(近世)		
寺A-126	(封紙のみ)					
寺A-127	中川十内他(書簡・願勝寺内竹林の扱いに関する件)	中川十内 外2名	願勝寺	五月十一日(近世)		
寺A-128	五年切本米返二亮渡申島地書物之事			(近世)		後欠
寺A-129	(御免地内諸木の扱いにつき通達)	長浜忠太郎 外4名	願勝寺	(近世)		
寺A-130	約定証文(地所引き渡しについて)	美馬郡々里村 井村常蔵 [印]	同村(郡里村)佐伯快測殿	明治十一年十月廿四日	1878	
寺A-131	型紙(4枚)					
寺A-132	就御吟味申上覚(願勝寺と神宮寺の関係について)			(近世)		破損大・開困難
寺A-133	申上ル覚(岩倉村氏神八幡宮遷宮についての願書)	願勝寺	伏屋岡三郎殿	戊四月		
寺A-134	申上ル覚(岩倉村氏神八幡宮御神体の件)	願勝寺 [印]	伏屋岡三郎殿	戊七月廿八日(近世)		
寺A-135	(対立する未寺への詰問)			(近世)		綴 前後欠
寺A-136	封紙のみ					
寺A-137	指遣申一札之証(御一新、下人解放につき願勝寺名負地の扱いについて)	願勝寺 [印] 外3名	寺中惣代 井村武八との	明治五申ノ年十一月五日	1872	
寺A-138	宗門寺請状之事(転住のため)	同処(今治) 光林寺	阿州願生寺様	文政六年二月	1823	
寺A-139	地所株書ヲ以相渡申約定之証副書	井村武八・井村武蔵・井村宇吉・井村市太・井村惣平右各五名代人第六大区三小区郡里村百七十二番地平民井村常蔵 外1名	同大区同小区郡里村 真言宗願勝寺住職佐伯快測代人第五大区四小区川田村 工藤實一殿	明治十年十二月四日	1878	堅帳 奥書有
寺A-140	就御礼申上ル覚(悪行に関する申し開き)	重清村 清作 [印]	組頭庄屋 西岡蔵之丞殿	西三月廿三日(近世)		奥書有
寺A-141	仕上ル書物之事(住職就任につき本末の法式を守る旨の請書)	大田村万福寺	願勝寺様	文政三庚辰七月十一日	1820	
寺A-142	手習い					
寺A-143	(光孝帝陵・宇多天皇に関する書き上げ)					堅帳
寺A-144	(祭礼執行許可願い)	采女・惣氏子	祖上幾右衛門殿	九月十八日		
寺A-145	五年切元銀返渡申島地書物之事	郡里村島地売主 願勝寺 [印] 外10名	同村(郡里村)道蔵殿	明治二巳年五月	1869	裏書有 破損有
寺A-146	預之金之事(講関係)	棧敷又三郎 [印]	願勝寺様	明示(治)六癸酉十月	1873	奥書有
寺A-147	(高野山大師教会徳島教区支部長任命書)	真言宗高野派管長一等大僧正密門有範	願勝寺住職 津田昌洋	明治四十五年二月八日	1912	
寺A-148	横切ヲ以申上覚(末寺半田口山神宮寺の件について)	願勝寺	三間勝蔵様	(近世)		
寺A-149	御国高取調(触書写・諸国寺社領郷村高帳差し出しの件)			(近世)		
寺A-150	一筆啓上(今井村宝輪寺の件)	真福寺 [印] 外4名	橋本総在 外2名	閏五月朔日		破損甚大
寺A-151	依御室(老中奉書 御中陰法事の件)	安藤長門守信睦 [花押] 外3名	龍華定院前大僧正 真光院僧正	八月二十八日(近世)		折紙 虫損・破損有
寺A-152	勝手ヲ以(宗門送り状)	麻植郡河田村明王院 [印]	願勝寺様	(近世)		前欠
寺A-153	預ケ申一札之事(檀家預け手形 宗門送り状)	讚州那珂郡櫻井村 浄願院 [印]	願正寺御侍者中	寛政九巳五月十二日	1797	
寺A-154	四徳図(仏教道具の図)	金剛峯寺南谷成華印真源		寛保三癸亥五月中旬	1743	
寺A-155	印信	伝燈大阿達黎耶大僧正法龍 [花押]	昌淳阿闍梨	大正七年六月	1918	封紙有
寺A-156	仕書物之事(住職就任につき本末の法式を守る旨の請書)	太田村万福寺 [印]	願勝寺様	明治三午年二月	1870	封紙有 下部鼠損
寺A-157	此度諸国御料私領(寺院取調の通達)			(近世)		横帳綴糸はずれ
寺A-158	奉願覚(奥半田山多門寺無住につき受け持ち願い)	奥半田山多門寺且家惣代 茂左衛門 [印] 外3名	願勝寺御役僧	天明八申年三月	1788	奥書有
寺A-159	御室御所権目官銀等之御條目控	大僧都寛盛 [花押]		天明八戊申九月	1788	堅帳 一部鼠損
寺A-160	約定証文之事(地券名据についての済口)	被告之名代人 井村常三郎 [印]	佐伯快円代人 工藤實一殿	明治十年十二月四日	1877	綴
寺A-161	八千牧作法	龍環				封紙有
寺A-162	隨求菩薩(手印)					
寺A-163	(兵法虎之巻外秘伝)					
寺A-164	臨終の印明を授与して詠る(和歌)	快測				
寺A-165	(白紙)					

表1-5 願勝寺文書目録 (5)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-166	(?)					虫損 破損 開封不能
寺A-167	(?)					虫損 鼠損 開封不能
寺A-168	(?)					虫損 鼠損 開封不能
寺A-169	(?)					虫損 開封不能
寺A-170	(?)					断簡
寺A-171	(?)	郡里庄屋〔 〕外4名		万〔 〕		
寺A-172	(前欠)(当寺へいただいた折り紙の件)	美馬郡郡里村 願勝寺〔角印〕	〔 〕之進殿 外1名	延享口年二月七日		前欠 虫損 紙質劣化 開封不能
寺A-173	御〔 〕(印形について)					紙質劣化
寺A-174	何国何郡之内郷村高帳(雛形)			(近世)		
寺A-175	五年切元米返売渡申書物之事	郡里村島地売主 願勝寺〔印〕外3名	同村(郡里村)分兵衛殿	弘化三年十月	1846	裏書有
寺A-176	高何程(寺の持高等報告・雛形)	何国何寺 印	御勘定所	(近世)		
寺A-177	呪賊経為盗人修之(折袴関係書き付け)					虫損有
寺A-178	口上					計測不能 断簡
寺A-179	覚(御弘木のうち23本を願勝寺へ渡す旨の報告)	三好郡中西村 大西平助	流木方御奉行様	寛延三年三月六日	1750	奥書有
寺A-180	御室直末(帯封)					
寺A-181	臥鶴の松(詩 長歌と返歌)	小西英夫		一九五一年四月	1951	「先生直筆」と書かれた包み紙有
寺A-182	型紙(2枚)					
寺A-183	一札之事(万福寺住職として弟子を派遣する件)	享保寺〔印〕	願勝寺様	明治三年二月朔日	1870	
寺A-184	上ル	穴吹村 享保寺		(近世)		封紙のみ
寺A-185	奉願上(遷宮について)	〔 〕	三木〔 〕殿 外2名	天保三辰年三月廿七日	1832	破損 紙質劣化 水損
寺A-186	五年切元銀返シ売渡申書物之事	郡里村島地売主 願勝寺〔印〕外2名		文久二戌年十月	1862	後欠 裏書有
寺A-187	(五年切元米返島地売渡証文)	郡里村島地売主 願勝寺〔印〕外9名	同村(郡里村)無役人 勝弥殿	文久二戌年五月	1862	前欠 裏書有
寺A-188	地所ノ分(寺の財産・所得等の調査 雛形)					白紙と一緒に折り込み
寺A-189-1	沓々年切売渡申書物之事	郡里村島地売主 願勝寺〔印〕外1名	同村(郡里村) 杉藏殿	文久西五月	1861	1と2は一緒に折り込み
寺A-189-2	畑地売渡約定証	畑地売主 井村常三郎〔印〕外1名	佐伯快測殿	明治十二年一月十二日	1879	1と2は一緒に折り込み
寺A-190	申上覚(堂守罷免の件)	半田口山 照見	曾我部道右衛門殿	明治元辰年十二月十四日	1868	奥書有
寺A-191	薬師如来ノトバ(薬師如来像・弘法大師蔵の開眼供養について)			戊戌歳		
寺A-192	奉願覚(觀摩木を自由に伐取らせて欲しい旨の願い)	願勝寺		(近世)		
寺A-193	御答之覚(境内林伐採の件)	願勝寺	曾我部宗兵衛殿	子六月廿六日(近世)		
寺A-194	丈量図 美馬郡重清村北東原六拾参番地					2枚
寺A-195	井村市太地子滝滯計算					綴
寺A-196	五年切元銀返売渡申書物之事					後欠 裏書有
寺A-197	預申金証	鎌田弥八〔印〕	願勝寺様	明治十四年九月	1881	
寺A-198	預申金子之事(講関係)	美馬郡郡里村預主 吉本幸吉〔印〕	同村(郡里村) 願勝寺殿	明治七年十二月	1874	奥書有
寺A-199	徳左衛門(書簡・貞吉の死に関する質問に対する返事)	徳左衛門〔印〕	願勝寺様	正月九日(近世)		
寺A-200	奉願覚(材木の入手について)	郡里村 願勝寺	竹林当	未ノ四月廿一日(近世)		
寺A-201-1	金子預り証(講関係)	郡里邸金子預人 曾我部宗平〔朱印〕	願勝寺	明治十四年九月十五日	1881	1と2は一緒に折り込み 虫損 奥書有
寺A-201-2	預申金子之事(講関係)	郡里邸金子預人 曾我部宗平〔朱印〕	郡里村 願勝寺殿	明治十年三月五日	1877	1と2は一緒に折り込み 虫損 奥書有
寺A-202-1	玉振大明神(書き替えに関する紛争について)			(嘉永元年)	1848	1と2は一緒に折り込み 2枚
寺A-202-2	奉葺替玉振大明神宝殿一字(棟札写し)			嘉永元戊申吉日	1848	1と2は一緒に折り込み
寺A-203	源平藤橘(手習い)					
寺A-204	沓々年切売渡申書物之事	郡里村島地売主 願勝寺〔印〕外1名	同村(郡里村) 文兵衛殿	嘉永五子年十月	1852	裏書有
寺A-205	預り申米之事(講関係)	西山彦太 外1名	願勝寺殿	明治八亥五月	1875	奥書有
寺A-206	教導要義					綴
寺A-207	古義真言宗本末一派寺院明細帳(万福寺に関する報告)	名東県管轄阿波国第六大区美馬郡太田村 如玉山万福寺		(明治五年カ)	1872	整帳
寺A-208-1	地券寺名奉願証	高知県阿波国第六大区美馬郡三小区郡里村百七十番番地真言宗古義派願勝寺住職 佐伯快洲〔朱印〕外3名	高知県令 小池国武殿	明治十年十二月廿日	1877	1~4は黒白の水引で一括 奥書有 綴
寺A-208-2	(願勝寺周辺絵図)			(明治)		1~4は黒白の水引で一括 一部彩色
寺A-208-3	(丈量図)			(明治)		1~4は黒白の水引で一括
寺A-208-4	十年三月一日調 絵図面附録(各筆毎の書き上げ)			明治十年三月一日	1877	1~4は黒白の水引で一括 綴
寺A-209	塵是法界(仏教関係)	瑠伽沙門快尊		文政十三庚寅林鐘後八日	1830	前欠
寺A-210	横切ヲ以申上覚(僧侶不足への対応について)	願勝寺	高木真之助様 外1名	卯七月十一日(近世)		
寺A-211	住職権目御札式					

表1-6 願勝寺文書目録(6)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-212	仕上ル書物之事(住職就任につき本末の法式を守る旨の請書)	半田奥山 多聞寺 [印]	願勝寺様	享和三亥十月廿八日	1803	
寺A-213	覚(旦那寺を安楽寺に変更の件)	与惣兵衛 [印] 外1名	願勝寺様	戊七月三日		
寺A-214-1	老作切預申田畠証之事	郡里村中山路作人 井村常助 [印] 外1名	同村(郡里村)地主 佐伯松堂殿	明治六酉年六月	1873	1~3は一箱に折り込み 奥書有 鼠損 虫損
寺A-214-2	小作証文之事	郡里村中山路小作人 藤川曾吉 [印] 外1名	郡里村地主 佐伯快洩殿	明治十四年五月	1881	1~3は一箱に折り込み 奥書有 鼠損 虫損
寺A-214-3	小作証文之事	美馬郡郡里村小作人 井村常藤 [印] 外1名	同村(郡里村)地主 佐伯快洩殿	明治十年十月十日	1877	1~3は一箱に折り込み 奥書有 鼠損 虫損
寺A-215	仕渡候書物之事(用水に関する紛争の件)	郡里村 九郎兵衛 [印] 外1名	願勝寺様御納処	享保拾八丑年七月四日	1733	
寺A-216	(中僧都辞令)	古義真言宗管長大僧正 龍池密雄 [朱角印]	教師師補 津田快洞	昭和五年十一月廿五日	1930	
寺A-217-1	授印可(両部灌頂印信)	伝燈大阿闍梨寺務検校執行法印大法師位公雄 [花押]	大法師 快洞	昭和四年十月十七日	1929	1と2は同一の封紙に入り一緒に折り込み
寺A-217-2	伝法灌頂阿闍梨職位事	伝燈大阿闍梨寺務検校執行法印大法師位公雄 [花押]	大法師 快洞	昭和四年十月十七日	1929	1と2は同一の封紙に入り一緒に折り込み
寺A-218	笛太鼓鐘(短歌)					
寺A-219	遷宮巨細書(封紙のみ)					
寺A-220	口上(氏神遷宮に科する紛争について)	半田村 神宮寺 [印]	願勝寺様	享保拾四酉年九月七日	1729	
寺A-221	田地老作切小作証之事	美馬郡郡里村 長江儀三郎 [印] 外1名	佐伯快洩殿	明治十四年一月五日	1881	奥書有
寺A-222	仕書物之事(住職就任につき本末の法式を守る旨の請書)	神宮寺 [印]	願勝寺様	享和二戌年十月	1802	
寺A-223	申上ル覚(岩倉村氏神八幡宮の遷宮について)	郡里村 願勝寺	伏屋岡三郎殿	戊八月(近世)		一部破損
寺A-224	宗門寺請状之事(檀家御地に住居のため寺役御願い)	神宮寺 [印]	願勝寺様	天保十三寅二月日	1842	
寺A-225	宿曜経中要尽図釈 其二					整頓
寺A-226	地券寺名奉願証	高知県下阿波国第六大区美馬郡三小区 郡里村百七十一番地真言宗古義派願勝寺住職 佐伯快淵 [朱印] 外4名	高知果令 小池国武殿	明治十年十二月廿一日	1877	奥書有 綴
寺A-227-1	一札(願勝寺の意見に従う旨の請書)	神宮寺 快伝	願勝寺様	嘉永三戌二月	1850	1と2は一箱に折り込み
寺A-227-2	申上候札之事(伴病死の件)	郡里山清田名 本吉 [印] 外1名	願勝寺様	慶応二年寅九月	1866	1と2は一箱に折り込み 奥書有
寺A-228	譲渡申島地書物之事	郡里村島地譲主 より [印] 外5名	同村(郡里村)願勝寺御内勝右衛門殿	(近世)		端裏書有
寺A-229	五年切元金返二荒渡申島地書物之事	神宮寺	願勝寺様	七月廿七日(近世)		裏書有
寺A-230	仕上ル(ル)書物之事(住職就任につき本末の方式を守る旨の請書)	半田奥山 多聞寺 [印]	願勝寺様	文政九戌八月廿七日	1826	鼠損
寺A-231	型紙(4枚)					一部虫損
寺A-232	覚(境内林伐採に関する申し開きの件)	郡里村 願勝寺		(近世)		鼠損
寺A-233	(神宮寺関係の内済に関する奥書)	長左衛門 [判] 外2名	中山九郎右衛門様御手代祖上幾右衛門との	[]廿五日(近世)		前欠 虫損
寺A-234	覚(神宮寺住職へ転任につき本末の作法等を守る旨の請書)	三好郡昼間村願成寺 密衆 [花押]	願勝寺様	宝暦十一年巳九月廿九日	1761	
寺A-235	御尋二付口上書物之事(姉の病死の確証及び廻向依頼)	沢田半之助 [印] 外2名	願勝寺	寛政五丑年十一月朔日	1793	鼠損
寺A-236	(白紙 印形有)					
寺A-237	日輪押大事(口伝授与)	僧正阿達梨 快淵 [花押]		明治三十六年陰九月十五日	1903	封紙有
寺A-238	御願申上ル覚(本道修復のための木を相応の運上銀で伐採したい旨の願い)	願勝寺	原寅三郎殿	巳十月(近世)		
寺A-239	第九号(山川ニミに関する記録)					脱落した付紙か
寺A-240	(五等教師辞令)	真言宗御室派管長一等教師大僧正 泉智等 [朱角印]	六等教師 佐伯快淵	明治三十八年九月廿六日	1905	
寺A-241	(少僧正辞令)	真言宗各宗派連合長老大僧正 高幢龍暢	権少僧正 佐伯快洩	明治三十八年九月廿六日	1905	
寺A-242	申請項目書(願勝寺の名称・所在地・本尊・宗派・本山・境内地等の書き上げ)					
寺A-243	(御開祖法皇第九百五十回御国忌等案内)	大本山仁和寺執事 [角印]	願勝寺住職 佐伯快洩 殿	明治十四年九月十二日	1881	
寺A-244	覚(本末の作法遵守の旨の請書)	神宮寺 有泉 [印]	願勝寺様	天明三年卯七月廿日	1783	
寺A-245-1	約定証文(返済の約定)	美馬郡々里村 井村甚藤 [印]	同村(郡里村) 佐伯快洩殿	明治十一年十月三十一日	1878	
寺A-245-2	約定証文(返済の約定)	美馬郡々里村 井村甚藤 [印]	同村(郡里村) 佐伯快洩殿	明治十一年十月三十一日	1878	
寺A-246	国蔵容体書	郡里村郷医師 美馬文司		慶応四年七月朔日	1868	
寺A-247	覚(借金返済について)			(近世)		
寺A-248	覚(境内林無許可伐採についての住職の弁明)			(近世)		
寺A-249	仕上ル書物之事(住職就任につき本末の方式を守る旨の請書)	大田村 万福寺	願勝寺様	寛政八辰正月廿一日	1796	
寺A-250	上(封紙のみ)	郡里山清田名 京太				
寺A-251	上下醍醐寺入堂次第					整頓
寺A-252	(境内地譲与に関する質問)	大阪財務局臨町出張所長 [角印]	郡里町願勝寺 津田快洞殿	昭和拾八年五月拾八日	1943	3枚
寺A-253	別副(御室直末になるにあたっての手續きについて)			(近世)		
寺A-254	(仁和寺の御評儀方・御末下執達方書き上げ)					

表1-7 願勝寺文書目録(7)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺A-255	御境内正院家(仁和寺の隨院書き上げ)					
寺A-256	享保寺(書簡・土地の問題について)	享保寺	願勝寺様	九月廿七日		
寺A-257	賞筆状	真言宗大本山仁和覚法務主管教正 中御門神海〔角印〕	願勝寺快洩御房	明治十三年十月	1880	折紙 一部汚損
寺A-258	譲渡申島地〔 〕 (譲渡証文)	郡里村譲主 嘉代蔵〔角印〕外4名	およりの	寛政〔 〕		紙質劣化 破損
寺A-259	仕上書物之事(住職就任につき本末の方式を守る旨の請書)	太田村 万福寺〔印〕	願勝寺様	嘉永二酉年十月日	1849	
寺A-260	(田地年季売証文)	郡里村田地売主 願勝寺〔印〕外8名	同村(郡里村) 孝吉殿	弘化三午年十月	1846	前欠
寺A-261	伝法灌頂血脈(大日如来~快洞の法統)					封紙有
寺A-262	預り金子之事(購関係)	三小区郡里村 井川伊之吉〔朱印〕	願勝寺様	明治十一歳四月	1878	奥書有
寺A-263	仕上書物之事(万福寺入院につき本末の寺法を守る旨の請書)	万福寺〔印〕	願勝寺様	宝曆二壬申六月十五日	1752	
寺A-264	(建物・土地・末寺等の報告)	願勝寺義応	御室御所様出世御奉行御中	宝曆十三年三月二十一日	1763	前欠 糊剥がれ 一部虫損
寺A-265	(仏書断簡)					堅紙断簡一枚 破損大
寺A-266	[〕一札之事(息子の死亡報告)	善左衛門〔印〕外1名	願勝寺様	文化六巳六月十一日	1809	前欠 破損大
寺A-267	(宗法規則の通達)					断簡
寺A-268	乍恐申上ル覚					虫損 開封不能
寺A-269	仕書物之事(住職就任につき本末の法式を守る旨の請書)	神宮寺道意〔印〕	願勝寺様	嘉永四年亥六月日	1851	
寺A-270	申上ル御断簡之事(柴札・札銀納之事)	郡里村願勝寺 外2名	七条伝蔵殿 外2名	宝永三年二月三日	1706	
寺A-271	約定証文之副書(以前の約定証文に相違や異議の無い旨の請書)	第六大区三小区郡里村 井村武八〔印〕外2名	同村(郡里村) 佐伯快洩殿	明治十一年四月九日	1878	
寺A-272-1	(県庁よりの通達・宝物調査等)	県庁		(明治5年)四月	1872	堅紙 1と2は紙縫で一括
寺A-272-2	(通達送り状)	県庁	願勝寺	(明治5年)四月十二日	1872	1と2は紙縫で一括
寺A-273	京極高厚(書簡・寒中見舞い)	京極飛騨守高厚〔花押〕	真光院僧正	十一月廿一日(近世)		
寺A-274	官殿作〔 〕 (社殿建設要項)					一部虫損
寺A-275-1	(印信)	大阿闍梨教正神海	試補快琳	明治十三年六月廿四日	1880	1と2は「西院流大事」という封紙に同封
寺A-275-2	西院流相承(大日如来~快琳の法統)					1と2は「西院流大事」という封紙に同封
寺B-1	明治自十一年至十九年 浮置地券名挙願	郡里村役場		明治十一年	1878	堅紙
寺B-2	享保十七年子ノ五月十日 郡里山御給知名寄帳			享保十七年子五月十日	1732	堅紙 裏表紙欠
寺B-3	二 阿波国第六大区美馬郡第三小区重清村之内 元禄十年御檢地之處奉願控	同郡同村(美馬郡重清村)	名東果參事久保断三殿 外1名	明治六癸酉一月	1873	堅紙
寺B-4	安政二卯年八月 郡里山畑再調根元帳	南健五郎〔印〕外1名		安政二卯年八月	1855	堅紙
寺B-5	享保十七年子五月十日 巻番 郡里山御檢地帳 柴坂(腰張帳)	井上吉兵衛〔印〕外2名		享保十七年子五月十日	1732	堅紙
寺B-6	(棟付帳)			化政期		堅紙 表紙・裏表紙欠 下調帳カ
寺B-7	嘉永四亥年十一月 〇(美)馬郡郡里村御檢地御給知〔 〕 (檢地帳写)	郡里村与頭庄屋 曾我部道右衛門 外6名		嘉永五子年四月	1852	堅紙 表紙・裏表紙欠
寺C-1	中院流伝授目録(仏書カ)	桑門快洩寛淳				冊
寺C-2	般若菩薩(仏書カ)					冊
寺C-3	次誦火天(仏書カ)					2枚
寺C-4	宇治恵心院結縁灌頂記(仏書カ)	金剛義剛		寛政七乙卯年正月	1795	冊 写本
寺C-5	已上二種在金対界(仏書カ)					
寺C-6	愛染明王洛勿表白結縁法(仏書カ)	宝壺山取持		文化十三年桃月二日写	1816	冊
寺C-7	護進法(仏書カ)					冊 後欠
寺C-8	愛染明王法(仏書カ)	快仙				冊
寺C-9	十八道頭次第(仏書カ)					
寺C-10	灌頂承作法(仏書カ)	宥密				冊
寺C-11	結縁灌頂大阿速梨声明 中院進流(仏書カ)	快明				冊
寺C-12	并心ノ体性ニ致也(仏書カ)					一部(ハラ)
寺C-13	[欠]病人・浄人・巻紙(包紙カ)					上部大きく欠
寺C-14	次四偶菩薩事(仏書カ)					ハラ四枚 綴じ穴有り
寺C-15	五秒密(仏書カ)小第 五十四丁の内					冊
寺C-16	定光仏(仏書カ)後重					ハラ、帯封している
寺C-17	先左右ノ足(仏書カ)					ハラ、綴じ穴有り
寺C-18	胎蔵界念誦頭次第(仏書カ)					冊 表紙欠
寺C-19	曼荼羅供私記 幸心			寛政七乙卯年正月二十五日	1795	冊
寺C-20	金剛界九界密記 元景記					冊
寺C-21	門弁九(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-22	四海領掌大事(仏書カ)	金剛資寿				ハラ1枚
寺C-23	十八道契印(仏書カ)	快明				冊
寺C-24	御支配目録(石高書上)					紙背書有り

表 1-8 願勝寺文書目録 (8)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺C-25	弥勒法(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-26	種八異名元障金対(仏書カ)	有尊				
寺C-27	胎藏界神分等(仏書カ)	智懂				冊
寺C-28-1	沙弥新学要記一紙入(封筒)	持主 快応				
寺C-28-2	制教六念					
寺C-28-3	加行護摩檀莊嚴園中就道範相承本(仏書カ)					
寺C-29	伝法打三昧耶戒私記 供三(仏書カ)	快明				冊
寺C-30	無量寿作法次第 大師(仏書カ)	快明				冊
寺C-31	深巨海ヨリモ広虚空ヨリモ			大正四年十一月吉日	1915	ハラ(前欠)、罫線型押し
寺C-32	十一面法(仏書カ)	果慶		天和二壬戌二月廿四日	1682	冊、罫線型押し
寺C-33	諸尊要抄第一(仏書カ)	願勝寺現住法印快明		嘉永元年戊申八月日	1848	冊
寺C-34	諸尊要抄第九(仏書カ)			嘉永二歳己酉五月二十七日	1849	冊
寺C-35	阿弥陀法(仏書カ)	小野				冊、罫線型押し、後欠
寺C-36	不動能延六月法(仏書カ)	紀州和歌山 能良房之		慶安五年七月十七日書写	1652	冊、罫線型押し、後欠
寺C-37	笠取山隠願寺報恩院方 備前瓶井山門中四度加行日数事	義剛		寛政七乙卯年正月日	1795	冊
寺C-38	次阿弥陀大呪(仏書カ)	金資勝				ハラ
寺C-39	弁財天法(仏書カ)	海雲				ハラ、罫線型押し
寺C-40	聖天洗浴作法(仏書カ)	小野末資良純		享保六年辛丑初夏	1721	綴じ外れ、罫線型押し
寺C-41	(仏書カ)					冊のハラ1枚、罫線型押し
寺C-42	金宝鈔第七	金資快明二十八		嘉永己酉初秋二日	1849	冊
寺C-43	次三部被申護身等(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-44	弘法大師七十二箇条之禁制他					堅帳、破損大
寺C-45	次道場観(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-46	御精進供次第(仏書カ)	南山		明和八年	1771	冊
寺C-47	鎮守読経作法(仏書カ)	義剛		寛政七己卯年正月	1795	冊
寺C-48	護持仏法(仏書カ)十一					ハラ1枚
寺C-49	次入我(仏書カ)不動五					ハラ1枚
寺C-50	遷座(仏書カ)入仏作法			文政元年	1818	冊
寺C-51	胎藏界念誦次第(仏書カ)			嘉永元年戊申五月十一日写	1848	冊、表紙欠
寺C-52	日或真言相承野澤十二流図(仏書カ系統図)	河州錦野郡鬼住村葉樹山 延命寺与土諦観著				
寺C-53	裏鹿貝梨童女法(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-54	礼仏(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-55	遷照尊念誦次第(仏書カ)大師	快明				冊
寺C-56	唯一神道棟上 次第					堅帳
寺C-57	秘鍵開宝鈔巻上 十九(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-58	証(大正四年度授業料領収書)	郡里専常高等学校校長 飯沼熊一	筒井春一保護者代理 津田昌博殿	(大正五年)	1916	
寺C-59	悉曇加行次第(目録)	快淵				封紙あり
寺C-60	光明真言観誦要門巻下	河陽延命伝瓊伽教沙門 淨嚴撰		貞享三丙寅歳	1686	刊本、表紙欠
寺C-61	伝法灌頂三摩耶戒式幸聞記	仏子義剛		寛政七年乙卯春正月	1795	写本、寺C-1~61迄はビニール紐で一括
寺C-62	無量寿儀軌(仏書カ)亦名十八道	快明				冊
寺C-63	講経談論之庭聞法得益之理為法味喰受功(仏書カ)					折り本
寺C-64	伝法灌頂初夜作法(仏書カ)金剛界					折り本
寺C-65	大広益会玉篇巻第五					刊本、徳島県阿波国美馬郡郡里村願勝寺蔵書
寺C-66-1	十八道加行略作法	(仁和学生 快如坊)				堅帳 ホチキス留め 66-1~6一括封紙入り
寺C-66-2	食時略作法	(仁和学坊 快如)				堅帳 ホチキス留め 66-1~6一括封紙入り
寺C-66-3	加行開伽作法	(学院在中 快如坊)				堅帳 ホチキス留め 66-1~6一括封紙入り
寺C-66-4	施餓鬼略作法	(仁和在学中 快如坊)				堅帳 ホチキス留め 66-1~6一括封紙入り
寺C-66-5	結願作法	(仁和学生 入口坊)				堅帳 ホチキス留め 66-1~6一括封紙入り
寺C-66-6	異本朱録外 九通記目録 他					ハラ11枚
寺C-67	根本有部随意本炬軌并行事 四分白悉要軌 合本	願勝寺主快淵		明治四辛未年六月十九日(写)	1871	冊
寺C-68	ナウマクサンマンダボダナンサンサクワカ(仏書カ)			昭和六年十一月命日(写)	1931	堅帳
寺C-69	本堂用十八道作法 其ノ一			昭和十九年九月九日夜	1944	横帳
寺C-70	御代々御條目写	高野山学侶惣代 引撰院		宝曆十二年八月十一日	1762	堅帳
寺C-71	千手観音法 私次第(仏書カ)	光濟		文化七年庚午八月二日	1810	冊

表 1-9 願勝寺文書目録 (9)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺C-72	乞戒導師作法 中院(仏書カ)					冊
寺C-73	初日瑜伽観(仏書カ 仏法問答)	快燈六十六才誌		文政八年乙酉五月二日	1825	横帳
寺C-74	常悔忘失私記(仏書カ)	伝授大阿闍梨智幢 華押		安政四年丁巳四月七日	1857	横帳(後欠)
寺C-75	通六 御秘密法(仏書カ)					野線型押し、綴じはずれ
寺C-76	敬白真言教主大日如来(仏書カ)					折り本
寺C-77	秘密儀軌目録(仏書カ)					横帳
寺C-78	再遣吉(仏書カ)					冊
寺C-79	弥勒法(仏書カ)					冊、下部欠
寺C-80	許可小野(胎藏界五股印・金剛界(梵字)印)	月曜畢宿授恵雄	伝燈大阿闍梨都宝寿	嘉永二歳次己酉四月一日	1849	
寺C-81	宝壺山願勝寺所蔵引導作法	願勝寺内弟子明浮持		大正五年	1916	横帳
寺C-82	次普札(仏書、断簡)					冊 前後欠
寺C-83	次表白(仏書カ)					前後欠
寺C-84	阿弥陀法(仏書カ)					冊
寺C-85	為令法久住利益(仏書カ)	快明		嘉永元年戊申四月	1848	横帳
寺C-86	醍醐 灌頂五梅九方便唱礼句逗并讚記(仏書カ)	義剛		寛政七年乙卯春正月	1795	冊
寺C-87	第三事 秘中秘(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-88	随教法(仏書カ)					冊
寺C-89	通八 施餓鬼法(仏書カ)					冊
寺C-90	天神七代 他(仏書カ)					ハラ2枚
寺C-91	(書状、美馬桜水扇の追悼祭の一件)			(明治)七月十一日		
寺C-92	馬頭作法(仏書カ)					冊
寺C-93	散念真言(仏書カ)	秀圓				冊、後欠
寺C-94	第三事 当流之深秘只在之親承師(仏書カ)	金剛仏子 朝憲		延宝五年初夏	1677	冊
寺C-95	寂勝王経(仏書カ)	勢宥之				冊
寺C-96	弁財天法(仏書カ)					冊
寺C-97	金宝鈔第四(仏書カ)	快明				冊
寺C-98	諸尊要抄第十五(仏書カ)	願勝寺幻主 徳淳房快明				冊
寺C-99	諸尊要抄第八(仏書カ)	快明		嘉永二歳己酉五月二十六日	1849	冊
寺C-100	諸尊要抄第十四(仏書カ)	法印快淵		嘉永二歳己酉水無月十七日	1849	冊
寺C-101	弁財天(仏書カ)					2枚
寺C-102	遷宮作法(仏書カ)					
寺C-103	御枕移作法(仏書カ)	宥範之				冊
寺C-104	不動護摩私記(仏書カ 後欠)	勢憲				冊
寺C-105	諸社本地(仏書カ)	龍環				冊
寺C-106	四度聞書(仏書カ)					冊
寺C-107	得度略作法全					ハラ1枚
寺C-108	就除糞髪(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-109	其後心静授十戒(仏書カ)					ハラ1枚
寺C-110	駄都秘法(仏書カ)					冊
寺C-111	結縁灌頂後朝供養法私記(仏書カ)	快明		嘉永元戊申中夏十八日	1848	冊
寺C-112	薬師金輪随求(仏書カ)					冊
寺C-113	三宝院式不用瑜伽羯磨支証(仏書カ)	義剛		寛政七乙卯年正月	1795	冊
寺C-114	灌頂壇行事 西百宝幢院御本(仏書カ)	義剛		寛政七卯年正月	1795	折り本
寺C-115	結縁灌頂初夜作法 金界	義剛		寛政七乙卯年正月十三日	1795	折り本
寺C-116	図(方角と色の図)					
寺C-117	台宗観法(仏書カ)					七/四十七口表(左下配)、虫喰い有り
寺C-118	輪教二密願弁相経頂剛金	輪記之				
寺C-119	二教命上云仏有三身教則二種(仏書カ)					
寺C-120	三劫六無畏十住心配属ノ図ニ云リ(仏書カ)					
寺C-121	仏有三身教則二種(仏書カ)	輪記之				
寺C-122	瑞相三身既料判現勝為命門二教命意(仏書カ)	輪筆之				
寺C-123	四種法身(仏書カ)					
寺C-124	第五戒図(仏書カ)					
寺C-125	上下二衣図(仏書カ)					
寺C-126	前請(仏書カ)					
寺C-127-1	儀淨絹衣量					
寺C-127-2	三昧耶戒					
寺C-128	營事人 胆病人 淨人(仏書カ)					
寺C-129	五時之図(仏書カ)					

表 1-10 願勝寺文書目録 (10)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺C-130	眼根ノ所見ニ(仏画カ)					
寺C-131	瓊祇経五次第図(仏書カ、メモ)					
寺C-132	論日仏有三身(仏書カ)					
寺C-133	横堅十且堅門之図(仏書カ)					
寺C-134	施餓鬼作法(仏書カ)	宥専				冊、後欠
寺C-135	ハボケイジヤ(仏書カ、断簡)					ハラ1枚
寺C-136	其印相者(仏書カ)					冊、前後欠
寺C-137	切法ト真理トハ(仏書カ)					2枚、ハラ2枚、綴じはずれ
寺C-138	救地区(仏書カ)					冊、虫損
寺C-139	御馬之法非纏索不能(病薬に関する仏書カ)					整頓
寺C-140	シラマンダヤ(真言、仏書カ)					冊、罫線型押し
寺C-141	結縁灌頂 文永記(仏書カ)					整頓
寺C-142	歓喜天浴初夜法施 指掌中院(仏書カ)	高野山龍光院阿闍梨寛傳中院仕法沙門真源				冊
寺C-143	歓喜天供表白 石山(伝教書)					冊、罫線型押し
寺C-144	安流最秘部伝授目録七(仏書カ) 供七	伝燈大阿闍梨智幢和尚		慶応三丁卯年十二月	1867	横綴
寺C-145	安流伝授目録式(仏書カ) 供七	龍環哲応		慶応三丁卯年十二月	1867	横綴
寺C-146	安流伝授目録三(仏書カ) 供七	龍環哲応		慶応三丁卯年十二月	1867	横綴
寺C-147-1	大日経第一巻	仏子慶整		延享元甲子年八月廿三日	1744	封紙一括
寺C-147-2	毘盧舎那経、金剛頂経、蘇悉地経、三部	智幢		天保十一年庚子十二月廿三日	1840	封紙一括
寺C-148	慰又復愿(仏書断簡)					前欠・折り本
寺C-149	霊会日鑑(過去帳、前後欠)			元禄4辛未年	1691	折り本、C-152が繋がる
寺C-150	郵便はがき(未使用、部分)	大阪凍氷商聯合会事務所				
寺C-151	圓光大師御遺訓					折り本
寺C-152	C-149へ繋がる					C-149へ繋がる
寺C-153	滅日告白(仏書カ)			(明治28年カ)	1895	小横綴
寺C-154	大梨加行護摩表白(仏書カ)			嘉永元年戊申五月廿五日	1848	封紙あり
寺C-155	結願作法(仏書カ、2枚)					封紙あり
寺C-156	印可加行表白(仏書カ)	快明		嘉永元年戊申五月二二日	1848	封紙あり
寺C-157	金剛界(受者暗簡、仏書カ)			嘉永元戊五月廿三日	1848	封紙あり
寺C-158	伝法灌頂受者作法(仏書カ)					封紙あり
寺C-159	教訓詞(仏書カ、2枚)					封紙あり
寺C-160	施食略作法(仏書カ)					封紙あり
寺C-161	胎藏界神分(仏書カ)					冊
寺C-162	御影供導師作法					綴
寺C-163	戒波羅(仏書カ、紙背に書簡断簡有り)					
寺C-164	入壇加行表白(仏書カ)					封紙あり
寺C-165	比丘禪城撰(仏書カ)	龍環哲応房				綴
寺C-166	奉公人令(法令書)					(ハラ6枚)
寺C-167	六種釈(仏書カ)					綴穴有りハラ5枚、C-168及びC-174を同封
寺C-168	(仏書カ)					C-167に同封
寺C-169	大日経々文科(仏書カ)	成会竜環				整頓
寺C-170	山王院問者(仏書カ)	竜環				整頓
寺C-171	光明真言鈔私講(仏書カ)	義般				整頓
寺C-172	韻鏡中十六韻二百六韻辨義(仏書カ)					整頓
寺C-173	味清浄ト(仏書カ、1枚部分)					ハラ
寺C-174	(仏書カ)					C-167に同封
寺C-175	秘鑑并神経科目(仏書カ)	仏子 靈道		安政六未年六月四日写	1859	
寺C-176	金剛線結形、投花形、三種					封紙入
寺C-177	伝法灌頂諸役人草案 七種(仏書カ)					封紙入
寺C-178	花筒机并紐結莊様(簡経物机、説明書及び雛形)	義剛				封紙入
寺C-179	理趣会 七紙(仏画)					「仁和寺皆明寺経蔵梓」印あり
寺C-180	尊法日記(仏書カ)					虫喰甚大
寺C-181	大青面金剛大呪(仏書カ、表紙欠)					木版印刷、折り本
寺C-182	受菩薩戒法則(仏書カ)					折り本
寺C-183	仏生会法則(仏書カ)	金剛峯寺、進流末寶雲端南龍		明和元年甲申	1764	木版印刷、折り本
寺C-184	十八道作法(仏書カ)	願勝寺弟子弘範写				金具有り注意
寺C-185	宿曜経撮要(仏書カ、和本)	勢州津蔵日山大願寺		天保四癸巳九月	1833	木版印刷、冊
寺C-186	要法授訣鈔上(仏書カ)	義剛		寛政七年正月二十五日	1795	冊
寺C-187	次結前勤(仏書)					ハラ4枚
寺C-188	為三国伝燈(仏書カ、後欠)					冊

表 1-11 願勝寺文書目録 (11)

箱番号	表題	作成者	宛名	和暦	西暦	備考
寺C-189	諸加持作法(仏書カ)	快雅				冊
寺C-190	勢至法 三簿(仏書カ)	景運				冊
寺C-191	光明真言(仏書カ)通一					冊
寺C-192	尊勝法(仏書カ)通二					冊
寺C-193	如法尊勝(仏書カ)通二			享保四年辛卯五月八日	1719	冊
寺C-194	仏眼法(仏書カ)通一					虫喰い有 冊
寺C-195	阿弥陀法(仏書カ)通一			享保壬子三月	1732	虫喰い有 冊
寺C-196	五色加持胎通用(仏書カ)					冊
寺C-197	如意輪(仏書カ)通四					冊
寺C-198	理趣経段々印明(仏書カ)通三					冊
寺C-199	不空羂索(仏書カ)通四					冊
寺C-200	千手(仏書カ)通四					冊 虫喰い有
寺C-201	法華(仏書カ)通三					冊
寺C-202	馬頭(仏書カ)通四					ハラ1枚 虫喰い有
寺C-203	准虹(仏書カ)通四					冊虫喰い有
寺C-204	元結外五古印(仏書カ 安永六甲午年六月日救法祐寛とあり)	龍肝		文政六年秋	1823	(表紙欠カ)
寺C-205	五香(仏書カ、断簡)			享保十七年壬子三月上旬	1732	ハラ1枚
寺C-206	前後讀唱札(仏書カ)					冊
寺C-207	遺告ノ諸弟子等ニ(空海遺書承和二年三月十五日とあり)	鹿苗五世義洞拜写		元禄十丁丑孟冬日	1697	巻物

表 2-1 美馬郷土博物館目録一覽 (1)

番号	標題	作成者	宛者	年月日	西暦	備考
博A-1	卷 壬申五月明治八年五月ヨリ九月マテ 布告 祖口道夫	祖口道夫		壬申五月明治八年(明治五年:ママ)九月	1872	整帳
博A-2	賈祖根元簿			(明治十年)	1877	横帳
博A-3	栗坂名(賈祖根元簿)			(明治十年)	1877	横帳
博A-4	賈祖根元簿			(明治九年)	1876	横帳
博A-5	賈入御届(畑地)	篠原口口 外1名	高知県権令 小池國武	明治九年子十二月五日	1876	整帳
博A-6	五 六年三月ヨリ六月マテ 御布告綴込 西祖亀	祖亀道夫		明治六年酉年六月	1873	整帳
博A-7	昭和三年 昭和四年 役場改築ニ関スル書類 郡里村文書	郡里村役場		明治四年	1871	整帳
博A-8	第三区分(郡里山・村地番指名書付)			(年欠)		
博A-9	五番 享保十七歳 子五月十日 郡里山御検地帳 浦宮 宗重	折上吉兵衛 [印] 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-10	六番 享保十七歳 子五月十日 郡里山竹木御検地帳 古書目録番号第三号合括	井上吉兵衛 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-11	七番 享保十七歳子五月十日 郡里山御検地帳 大窪	井上吉兵衛 [印] 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-12	八番 享保十七歳子五月十日 郡里山御検地帳 切窪	井上吉兵衛 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-13	口月享保十七歳子五月十日 郡里山御検地帳 正郡 太田尾 竟山	井上吉兵衛 [印] 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-14	拾番 享保十七歳子ノ五月十日 郡里山御検地帳 惣後	坪田文兵衛 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-15	拾壹番享保十七歳子ノ五月十日 郡里山御検地帳 入倉	坪田文蔵 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博A-16	拾三番享保十七歳子ノ五月十日 郡里山御検地帳 条寄	井上吉兵衛 [印] 外2名		享保十七歳 子五月十日	1732	整帳
博B-1	國史略 卷之五	京都府平民 藤井孫兵衛		明治十四年十一月	1881	文政八年丙戌十二月原刻
博B-2	昭和拾八年以降 史蹟段ノ塚穴頭揚書類	郡里村役場		昭和十七年	1942	
博B-3	大正貳年一月吉日 亮懸帳	仲市太郎		大正貳年一月吉日	1913	
博B-4	享保十七歳子五月十日 郡里山御検地帳 坊僧	井上吉兵衛 [印] 他2名		享保十七歳	1732	
博B-5	享保十七歳子五月十日 郡里山御検地帳 樽久保 池ノ浦	井上吉兵衛 [印] 他2名		享保十七歳	1732	
博B-6	享保拾七歳子五月十日 郡里山御検地帳 藪草	坪田文蔵 [印] 外2名		享保十七歳	1732	
博B-7	大正貳年四月吉日 當座帳	仲市太郎		大正貳年四月吉日	1913	
博B-8	大正參年寅二月吉日 當座帳			大正參年	1914	
博B-9	大正八年拾月一日 當座帳 第貳部	仲口店		大正八年	1919	
博B-10	大正十年貳月吉日 當座帳	仲市店		大正十年	1921	
博B-11	大正十二年八月 當座帳	仲口口		大正十二年	1923	
博B-12	明治七年甲戌 賈祖根元			明治七年	1874	
博B-13	明治參拾四年 醫籍名簿 郡里村役場	郡里村役場		明治參拾四年	1901	
博C-1	郡里山検地帳 大久保名	南建五郎 [印] 外1名		(近世)		整帳
博C-2	二十五番 美馬郡々々山名負林取立帳	西民政掛 [朱印]	同村役人共方へ	明治四未年六月	1871	整帳

表 2-2 美馬郷土博物館目録一覧 (2)

番号	標題	作成者	宛者	年月日	西暦	備考
博C-3	十六番之内 延享二年丑四月廿九日 郡里山開辰新田竹木請御検地帳	梶浦小右衛門 外1名		延享二年丑四月廿九日	1745	
博C-4	譲渡申地書物之事	郡里山坊僧名田地贖受人 又兵衛子義太郎 [印] 外3名	同処 清太郎殿	文政貳卯年十月	1819	
博C-5	五年切元米返渡申書物之事	郡里山北浦名畑買主紋次兵衛孫紋次兵衛 [印] 外3名	同処 分左衛門殿	文化十一戌年五月	1814	
博C-6	宍源之進 二 権兵衛(名寄帳か)			(近世)		縦帳、表紙欠、後欠
博C-7	享保十七歳子五月 郡里山御検地名寄			享保十七歳子五月	1732	縦帳、後欠
博C-8	(検地帳)			(近世)		後欠、一部ネズミ書
博C-9	拾七番 延享四年卯六月三日 郡里山柴坂名宇右衛門田地驗所御改上	吉田又大夫 他2名		延享四年卯六月三日	1747	縦帳
博C-10	明治四辛未年 美馬郡郡里御高物成御請帳			明治四辛未年	1871	横帳、後欠、一部ネズミ損
博C-11	辛未三月 美馬郡郡里村御請帳 申年御帳			(明治四年) 辛未三月	1871	横帳
博C-12	(名寄帳)			(近世)		縦帳、前欠
博C-13	(名寄帳)			(近世)		表紙欠、縦帳、ネズミ損
博C-14	(名寄帳)			(近世)		表紙欠、縦帳、裏表紙一部欠
博C-15	享保拾七年子五月十日 郡里御検地名寄 梅種 池浦			享保拾七年子五月十日	1732	縦帳、背表紙欠
博C-16	式拾番 宝曆拾二年午〔 〕(貼り紙) 郡里山開辰御検地帳	大谷治三郎 他2名		宝曆拾二年午十一月	1762	縦帳、表紙に「古書目録番号第四号合括」の貼紙有り
博C-17	十六番 延享二年丑四月廿九日 郡里山開辰新田御検地帳	梶浦小右衛門 他1名		延享二年丑四月廿九日	1745	縦帳
博C-18	文化拾老成歳 美馬郡郡里山享保八卯年棟付御改以後代就願 三〔 〕貼紙			文化拾老成歳	1814	縦帳、表紙に「古書目録番号第一号号括」と貼紙有り
博C-19	御給〔 〕(表紙欠)(腰張帳)	郡里村興頭庄屋 曾我部道右衛門		嘉永五子年四月	1852	表紙・裏表紙欠、縦帳、裏表紙に「集計結果(郡里町役場用紙)」と貼紙有り
博C-雑	雑(断簡)					
博D-1-1	酒御通	徳島県板野郡堀江村 銘酒鳴門鯛日本正宗酒造元 松浦商店	仲美夫殿	大正十五年十一月	1926	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-1に同封、横帳
博D-1-2	売上通	大谷商店	仲市太郎様	明治四十一年三月~明治四十二年三月	1908~1909	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-2に同封、横帳
博D-1-3	綿糸通	郡糸店	仲市太郎様	明治四十年九月	1908	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-3に同封、横帳
博D-1-4	売上通	洋反・太物卸商(中) 大谷近太郎商店	仲市太郎殿	明治四十二年三月日	1909	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-4に同封、横帳
博D-1-5	売上通	洋反・太物卸商(中) 大谷近太郎商店 [朱印]	仲市太郎殿	明治四十四年四月	1911	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-5に同封、横帳
博D-1-6	売上通	洋反・太物卸商(中) 大谷近太郎商店 [朱印]	仲市太郎殿	明治四十五年四月九日	1912	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-6に同封、横帳
博D-1-7	足袋御通	阿波国撫美町商標(川) 南海足袋合資会社	仲市太郎様	明治四十五年五月日	1912	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-7に同封、横帳
博D-1-8	売上通	阿波国池田町洋反太物卸商(中) 大谷近太郎 [朱印]	仲市太郎殿	大正五年五月~大正六年五月	1916~1917	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-8に同封、横帳
博D-1-9	足袋通	徳島市船場町6丁目 商標(柏) 柏原足袋製造販売 柏原米二	仲市太郎様	明治四十四年九月	1911	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-9に同封、横帳
博D-1-10	現金履物御通	徳島市大字西新町四丁目 角山履物卸商	仲市太郎様	明治四拾四年五月吉日	1911	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-10に同封、横帳
博D-1-11	足袋御通	阿波国撫美町(川) 南海足袋合資会社	仲市太郎殿	明治四十四年十月	1911	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-11に同封、横帳
博D-1-12	売上通	洋反・太物卸商(中) 大谷近太郎商店 [朱印]	仲市太郎殿	(明治) 四拾三年度	1910	D-1-1~12は紐で一括、紐はD-1-12に同封、横帳
博D-3	當座帳簿	神商店		明治四十四年〇月吉日	1911	番号未撮影番号推定、横帳
博E-1	郡里村農村組合組織書綴(認可・会則・会員名書付)	美馬郡郡里村役場		明治参拾年	1897	縦帳
博E-2	第一期種痘名簿	郡里村役場		昭和十二年	1938	縦帳
博E-3	内達	戸長		明治二十年	1887	縦帳
博E-4	第七拾六号 明治十二年 郡役所達	(郡) 里村役処		明治十二年	1879	縦帳
博E-5	阿淡御条目					縦帳、谷口惣太郎氏所蔵
博E-6-1	龍王山植林日誌簿	郡里村役場		大正貳年十二月一日	1913	縦帳(B-6-1~8は一冊、背表紙に「龍王山植林ニ関スル簿冊 八冊第六〇号」の記載有り)
博E-7-1	明治四拾貳年 地理土木 往復書綴	郡里村役場		明治四拾貳年	1909	縦帳(B-7-1と2は一冊、「明治四十二年 地理土木往復書綴」と記載有り)
博E-8	喜来線道路ニ関スル書類(道路敷地寄付申請及び分筆図)			(大正2年)	1913	縦帳
博E-9	(立斎先生標題解注音釋十八史略卷之五)			(年欠)		縦帳、印刷
博E-10	凡消息往来			文久二戌年壬戌孟春吉辰日	1862	縦帳
博E-11	(論語卷之十)					縦帳、印刷
博E-16	(孟子卷之三)	朱熹				縦帳、印刷、封筒(内なし)有り、封筒にはE-12と記載し、重複のため
博E-12-1	組合員名簿	阿波製傘同業組合事務所		大正十年	1921	博E-12-2は1に挟まれている

表 2-3 美馬郷土博物館目録一覧 (3)

番号	標題	作成者	宛者	年月日	西暦	備考
博E-12-2	笠井新也(兼書・田所氏所有郡里村史使用の件、執筆分担農地改革・和傘製造に関する件、他質問の件)	脇町笠井新也	美馬郡郡里町役場			博E-12-2は2に挟まれている
博E-13	戦没者遺墨集	小笠俊延		昭和四十三年十二月三十日	1968	縦帳
博E-14	御成敗式目			(近世後期)		縦帳(貞永・天明の写し)
博E-15	社寺宝物古器物事書明細簿(寺院明細有り)	郡里村郡里山役所		(明治十二年以降)	1879	縦帳
博D-2	當座帳	半田口山字日浦		明治四十五年七月吉日	1912	横帳
博D-4	奉願上地券 他村					縦帳
博D-5	浅之丞(書簡・長瀬島地売払に付相談依頼)	浅之丞	佐藤禮太郎	九月廿九日(近世カ)		
博D-6	三番之内下 地券取調帳 安政三年仮御検地			安政三年写	1856	縦帳
博F-1	(「郡里町史」)原稿1	(郡里町)				手書き原稿
博F-2	(「郡里町史」)原稿2	(郡里町)				手書き原稿
博F-3	(「郡里町史」)原稿3	(郡里町)				手書き原稿
博F-4	(「郡里町史」)原稿4	(郡里町)				手書き原稿
博F-5	(「郡里町史」)最初1原	(郡里町)				手書き原稿
博F-6		(郡里町)				手書き原稿
博F-7	(「郡里町史」)原稿3	(郡里町)		昭和32年	1957	手書き原稿
博F-8	郡里山棟附帖(原稿)	(郡里町)				101枚
博F-9	手紙綴(「郡里町史」刊行に関するもの)	文功社	千葉榮隆	昭和31年	1956	
博F-10-1	(町史資料「郡里三ヶ名土地改良区沿革の概要」)			昭和28年	1953	博F-10-1～3は町史資料
博F-10-2	(町史資料「昭和二十八年町史編纂にあたり集録口口坊僧溜池沿革控」)			昭和28年	1953	博F-10-1～3は町史資料
博F-10-3	(町史資料、図面ほか八点)			昭和28年	1953	博F-10-1～3は町史資料
博F-11-1	(町史資料「藍こなしうた」「水とり節」ほか諸面3点)					博F-11-1～3は町史資料
博F-11-2	(町史資料「写真ネガ(郡小学芸会)ほか3点」)					博F-11-1～3は町史資料
博F-11-3	(町史資料「集合写真プリント」)					博F-11-1～3は町史資料
博F-12-1	段ノ塚穴平面図東写真					博F-12-1～3は町史資料
博F-12-2	西ノ塚穴平面図東写真					博F-12-1～3は町史資料
博F-12-3	東ノ塚穴平面図東写真					博F-12-1～3は町史資料
博F-13-4	感謝状	郡里町長 松原和夫		昭和33年3月30日	1958	感謝状(原本)
博F-14	脇町高等学校行幸記念 写真 昭和二十五年三月二十九日(貼紙)「写真ウスイので製版不能です 文功社(印)」			昭和25年3月29日	1950	
博F-15	第21回願勝寺一号古墳原図					
博F-16	第13回マナヘ塚石室並側壁図(原図)	郡里町				
博F-17	(「山村部落個別調査」原稿他)					
博F-18	拓本(瓦ほか)					
博F-19	町史資料					
博F-20	町史資料「狸の迷信」ほか					
博F-21	教やキリスト教(町史原稿 葉書等一括)					
博F-22	真言宗仁和寺派 中本寺(町史原稿一括)					
博F-23	薩山勝馬(町史原稿)					
博F-24	(町史グラー一括)					
博F-25	郡里町史 第三冊(原稿一括)					
博F-26	郡里町史 第二冊(原稿一括)					
博F-27	郡里町史 第一冊(原稿一括)					
博F-28	郡里町史 第六冊(原稿一括)					
博F-29	郡里町史 第五冊(原稿一括)					
博H-1	新功記 嘉平治館乃段 三段目 口	玉光				縦帳、浄瑠璃本、持主板谷文五、昭和拾五年十一月三日の記載有り
博H-2	三十三間堂棟記由来 平太郎往家乃段 島榮太夫	島榮太夫				縦帳、浄瑠璃本、「持主徳島果馬郡貞光町 豊沢仙一」の記載有り
博H-3	肥後の駒下駄 恵比屋乃段 島榮太夫	島榮太夫				縦帳、浄瑠璃本
博H-4	義経武勇記 灘右衛門往家	島榮太夫				縦帳、浄瑠璃本
博H-5	菅原伝授 四段目の切 手習児家殿	島榮太夫				縦帳、浄瑠璃本
博H-6	近江八	竹中清助(版元之印)				縦帳、浄瑠璃本、「持主豊沢仙一、昭和拾六年正月 稽古」の記載有り
博H-7	伊賀越 平作切腹の段 島榮太夫	島榮太夫				縦帳、浄瑠璃本
博H-8	須磨浦の段 一谷嫩軍記	製本発行所 大阪市東区唐物町四丁目 三番屋敷 加島屋 竹中清助				縦帳、浄瑠璃本、裏に「佐々宇鳴」記載有り
博H-9	四社兵衛往家の段 近江源氏 六ッ目	大阪船場 紙屋奥右衛門				縦帳、浄瑠璃本、廿八以降欠
博H-10	金毘羅御利生 百度平往家の段 竹本島榮太夫	竹本島榮太夫				縦帳、浄瑠璃本

表 2-4 美馬郷土博物館目録一覧 (4)

番号	標題	作成者	宛者	年月日	西暦	備考
博H-11	神靈矢口渡 三段目の切兵庫往家					竪帳、浄瑠璃本
博H-12	太切記七段目 豊竹勇太夫	豊竹勇太夫				竪帳、浄瑠璃本
博H-13	勢州阿漕浦 平時往家ノ段					竪帳、表紙欠損、浄瑠璃本
博H-14	摂州合邦辻 合邦内の段 竹本島栄太夫	製本発行所 大阪市東区唐物町四丁目 三番屋敷 加島屋 竹中清助				竪帳、浄瑠璃本
博H-15	近頃河原乃追引 お志めん・傳兵衛堀河段 島栄太夫	製本発行所 大阪市東区唐物町四丁目 三番屋敷 加島屋 竹中清助				竪帳、浄瑠璃本、「持主 豊沢仙一 徳島県美馬郡貞光町 板谷文五」 意見聞きに記載有り
博H-16	彦山権現 九段目 島栄太夫	発行印刷者 水谷影長 小石川区久★町 百〇八番地		明治三十六年三月三十日	1903	竪帳、浄瑠璃本
博H-17	艶容女舞衣 酒屋の口 豊沢仙一	発行兼印刷者 加島屋 竹中清助		明治四十四年十月廿一日	1911	竪帳、浄瑠璃本
博H-18	朝顔日記 摩訶訶の段	豊沢仙一		明治四拾三年六月中旬写し	1910	竪帳、浄瑠璃本、周桑郡田野村
博H-19	加々見山旧錦絵 長局段 島栄太夫	島栄太夫				竪帳、浄瑠璃本、昭和貳年 半田 町にて
博H-20	妹背山女庭劇 竹千雀 四段目のき里	竹中雀				竪帳、浄瑠璃本、裏面「明治十五年 六月請求 芥藤生」の記載有り
博H-21	小坂部館段 蝶巻形	製本発行所 大阪市東区唐物町四丁目 三番屋敷 加島屋 竹中清助			1885	竪帳、浄瑠璃本
博H-22	伽羅先代薨 竹の間 政岡忠義の段	大阪平尾 竹中清助 府下東区唐物町四 丁目三番地		明治十八年八月二十日		竪帳、浄瑠璃本
博H-23	一の谷雙軍記 流枝の段					竪帳、浄瑠璃本
博H-24	五年切證文(手習本)					竪帳
博H-25	(手習本)	鎌倉為市				竪帳
博H-26	(浄瑠璃本)					竪帳、表紙・裏表紙欠
博H-27	(浄瑠璃本)					竪帳、表紙欠
博H-28	(浄瑠璃本)					竪帳、表紙欠
博G-1	享保十七歳子ノ五月十日 郡里山御検地名 寄 瀧宮 宗重			享保十七歳子ノ五月十日	1732	竪帳
博G-2	十九番 宝曆拾辰辰四月七日 郡里山古田 崎御林開キ仕依不★被召上入札被仰付御 検地帳	大谷治三郎 他1名		宝曆拾辰辰四月七日	1760	竪帳、ネズミ損
博G-3	二十二番 天明九年酉ノ二月 郡里山竹木 入改帳 ★草名	丸岡甚太左衛門 他1名		天明九年酉ノ二月	1789	竪帳
博G-4	安政三辰年三月 美馬郡郡里村仮御検地相 棟附帳	岸和吉郎〔印〕 他3名		安政三辰年三月	1856	竪帳
博H	御蔵(検地帳 腰張帳)	郡里村五人与 二宮喜市 印 外6名		嘉永五子年四月	1852	竪帳